

計画の名称	～静岡中部地域北部の観光エリアの入口～道の駅「（仮称）せとや」整備計画													
計画の期間	令和０３年度　～　令和０７年度（５年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	藤枝市													
計画の目標	農林業をはじめとした地域産業の活性化、豊富な地域資源を活かした地域間交流の活性化などの地域活力の向上を目指すため、以下の目標とする。 ■静岡中部地域北部の観光拠点づくり ■地域の持続性を確保する担い手づくり ■地域のにぎわいを生み出す拠点づくり ■自然環境を活かした健康拠点づくり													
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		621	A	621	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合Ｃ／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初	R5末	R7末
1	供用初年度の施設利用者数を２２０，０００人／年とする。 施設供用後の利用者数 施設来場者を計測	0人	0人	220000人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

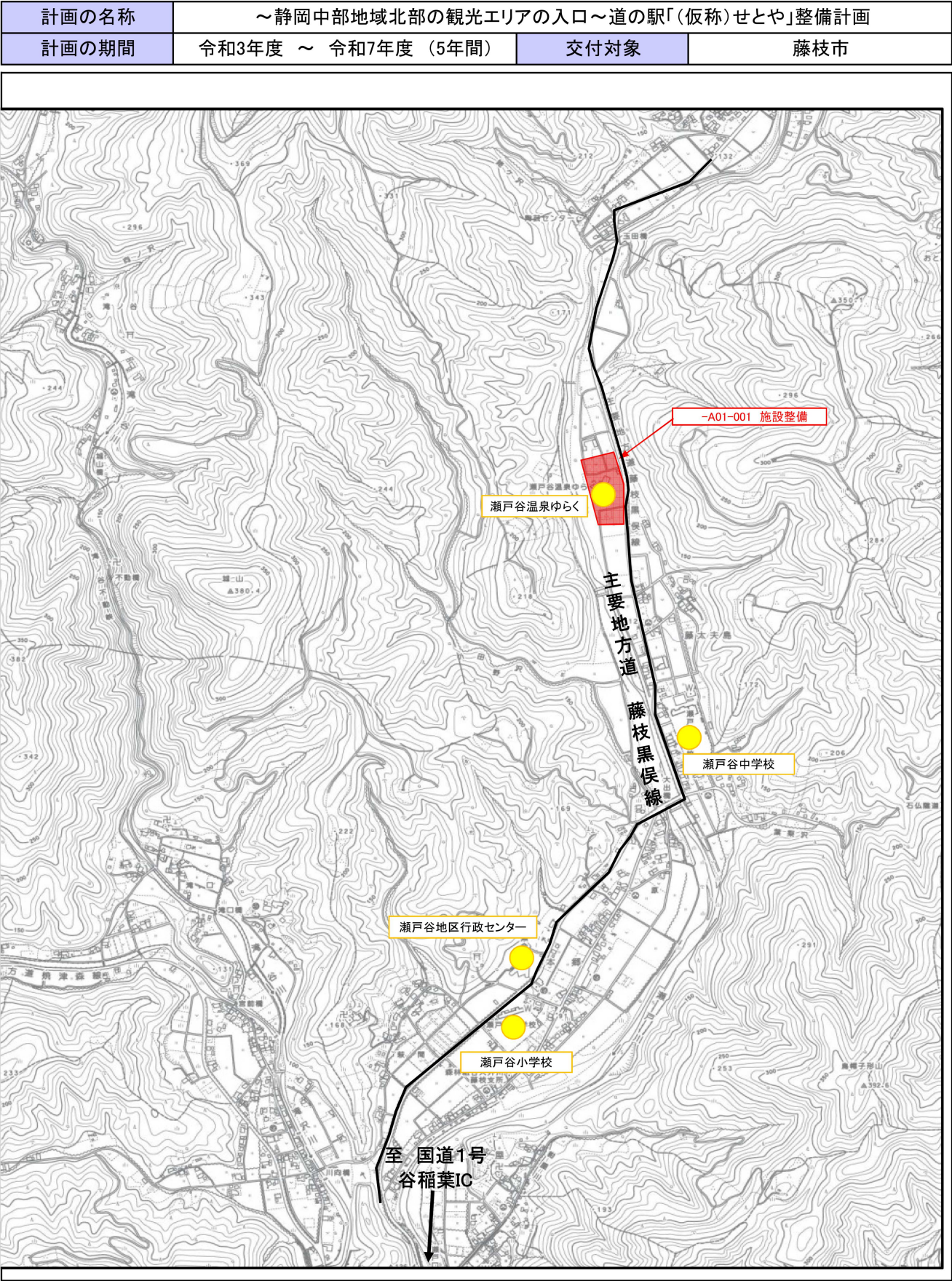
A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	道路	一般	藤枝市	直接	藤枝市	市町村 道	施設整 備	（市）8地区251号線 （道の駅）	駐車場 休憩施設整備 情報 提供施設整備 道の駅導入部 整備 防災拠点整備等	藤枝市	■	■	■	■	■	621		-	
												小計						621		
												合計						621		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04	R05	R06	
配分額 (a)	13	4	58	158	
計画別流用増 減額 (b)	0	6	0	0	
交付額 (c=a+b)	13	10	58	158	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	36	
支払済額 (e)	13	10	22	160	
翌年度繰越額 (f)	0	0	36	34	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考様式3) 参考図面(社会資本整備総合交付金)



事前評価チェックシート

計画の名称： ～静岡中部地域北部の観光エリアの入口～道の駅「（仮称）せとや」整備計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
I. 目標の妥当性 目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○